



はじめよう!

デコ活

くらしのなかのエコろがけ

「デコ活」とは何?

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、地球温暖化対策を更に推進するためには、国民一人ひとりのライフスタイルの変革が重要です。

そこで環境省は「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」をスタートし、その愛称を「デコ活」に決定しました。

暮らしを豊かにし、地球温暖化の防止にもつながる「デコ活」にみんなで取り組みましょう。

「デコ活」の意味は?

脱炭素を意味する「Decarbonization」と二酸化炭素の「CO₂」、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と、活動・生活を意味する「活」を組み合わせた新しい言葉です。

Let's デコ活アクション!

暮らしを豊かにし、脱炭素にも貢献する行動を、「デコ活アクション」といいます。以下にアクションの例を紹介いたしますので、できることから取り組みましょう。

まずはここから!

- デ** 電気も省エネ断熱住宅
電気代を抑える断熱省エネ住宅に住む
- コ** こだわる楽しいエコグッズ
LED・省エネ家電などを選ぶ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
食品の食べ切り、食材の使い切り
- ツ** つながるオフィステレワーク
どこでもつながれば、そこが仕事場に

その他のデコ活アクション

- 衣** クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに組み込む
- 食** 地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
- 住** 太陽光発電(再生可能エネルギー)の導入・ごみ削減、資源として分別・再利用する・宅配便は一度で受け取る
- 移** 環境にやさしい次世代自動車を選ぶことができるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
- 買** はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う

そのほかにも様々な「デコ活アクション」がありますので、ぜひ検索してみてください!

詳しくは **デコ活** 🔍 検索

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

中小企業の脱炭素化に向けたPPA型太陽光発電、ZEBに関する実践セミナー

環境省補助事業として2回のセミナーを開催しました



セミナーの参加者募集のちらし

環境省「令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における地球温暖化防止活動促進事業)」の一環として、中小企業の脱炭素化に向け、PPA型太陽光発電やZEBをテーマとしたセミナーを2回実施しました。

第1回(9月5日)は「PPAやZEBとは何か? 何から始めればいいのか?」などの疑問をもとに脱炭素化について考えてもらうセミナーで、40名の参加がありました。

第2回(11月30日)は、PPA型太陽光発電の導入実績や今後の取組、事務所や施設を新築・増改築する際のZEB化補助金についてのセミナーで、36名の参加がありました。



第1回セミナー(9月5日)



第2回セミナー(11月30日)

熊本市地球温暖化防止活動推進員より

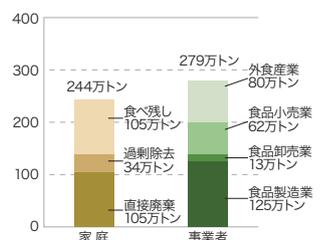
食品ロスを減らすためにご家庭で取り組める 食べ物を捨てない社会へ

食品ロスは事業者から多く出ていると思われがちですが、実際は家庭からもほぼ同量出しています。

家庭で発生する食品ロスは①食べ残し②賞味期限切れ等で手付かずのまま廃棄されたもの③厚くむき過ぎた野菜の皮など、過剰に除去された可食部分の3つに大別されます。

今回は③の食品ロスを減らすためのレシピをご紹介します。

食品ロスはどれくらい発生しているの?



令和3年度 環境省「食品ロスポータルサイト(消費者向け情報)」より

Recipe 美味しく使って作って食べよう!

食品ロス削減レシピ

~寒い冬に嬉しい! あったかポトフ~

《材 料》人参、大根、じゃがいも、玉ねぎ、かぶ、きのこ、白菜、キャベツ、かぼちゃなどのあり野菜。ウインナー、ベーコン、肉類など冷蔵庫にあるもの

《作り方は簡単》

- 野菜を切る時に野菜の皮や種、ヘタ、茎等を捨てずにザルに入れ、弱火で野菜だしを取ります。
- 20分~30分ほど煮出したら野菜スープの出来上がり。<強火で煮立たせるとえぐみや苦味が出てしまいますので気をつけて!>
- 私はウインナーやソーセージはフライパンで焼き色をつけて、切った野菜を足して煮込みます。コンソメ、塩、コショウ、醤油などの調味料をお好きな味加減で入れてください。

今回はポトフを作りましたが、皆さんも色々なレシピで食品ロスを減らしていきましょう!



野菜の皮などはザルに入れて煮出して野菜だしに



完成したポトフです